

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人花田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第1部	夜・通信	1,410 時間	80×3=240 時間	
	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第2部	①夜・通信	1,410 時間	45×3=135 時間	
	専科（鍼灸科）第1部	夜・通信	1,230 時間	80×3=240 時間	
	専科（鍼灸科）第2部	①夜・通信	1,230 時間	45×3=135 時間	
(備考) 実技・実習は全て実務経験（臨床）のある教員が担当					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。 また、来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	学校法人花田学園
設置者名	日本鍼灸理療専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html">https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	接骨院長	2025年5月22日から選任後3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	元厚生労働省局長		組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人花田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>シラバスの作成過程については年度ごとに教務から担当教員に対して科目の目的や目標、成績評価等の内容を予め提示し、担当教員は授業方法や授業内容等を検討し、原案の作成を行う。原案を基に教務で検討し、担当教員との合議により作成している。</p> <p>そのカリキュラムに基づいて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項をシラバスとして作成している。</p> <p>【時期について】</p> <p>シラバスの作成については、新学期が始まる3～4ヶ月前から取組み、新年度に、冊子を用いて、授業開始前にオリエンテーションを行って周知徹底している。</p> <p>4月上旬以降、事務室に閲覧用シラバスを備え置き、受付に閲覧希望の旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	冊子として学生に配布。また、事務室に備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則施行細則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科目で定める授業科目の試験(レポートを含む)により成績評価を行っている。</p> <p>(参考) 学則施行細則</p> <p>第10条 成績の評価は定期試験(筆記、実技)を基準として行う。実技科目では出席状況も加味して評価する。</p> <p>2 各科目の成績は次の基準で評価する。</p> <p>100点～90点 A</p> <p>89点～80点 B</p> <p>79点～70点 C</p> <p>69点～60点 D</p> <p>60点未満 E 不合格</p> <p>3 各科目とも成績評価がD(60点以上)で、かつ、該当科目の講義回数の3分の2以上出席した者に単位を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学内の成績評価は、定期試験毎の全履修科目の素点の平均点で評価する。当校では、学内推薦卒の候補者選定や学業優秀者の表彰候補者の選出などに活用している。学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験など）によって評価され当校では各授業の評価100点満点を基準として60点以上を合格としている。評価点数により100点～90点 A、89点～80点 B、79点～70点 C、69点～60点 D、60点未満 E不合格としている。</p> <p>成績評価方法については入学時、オリエンテーション資料として「学則施行細則」を入学生に配布して周知している。</p> <p>なお、指標の算出方法や成績評価方法についての閲覧用ファイルを事務室に備え置き、希望者は、その旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。また、来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、社会に信頼され貢献できる良き医療人の育成を目標として、カリキュラムの設定や教育がなされている。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。なお、詳細については学則施行細則に記載している。</p> <p>また、卒業認定に関する方針は事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにし、来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人花田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	直近3年分の情報をHPで公表している。 <a href="https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html">https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第1部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,835 単位時間/単位	1,995 単位時間/単位	単位時間/単位	840 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	168人	0人	20人	40人	60人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 学修支援等
（概要） 曜日をもって、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 必要な学生には、教務部長等による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
57人 (100%)	6人 (10.5%)	32人 (56.1%)	19人 (33.3%)
（主な就職、業界等）鍼灸院、鍼灸マッサージ院の施術所等			
（就職指導内容）教員による個別相談等			
（主な学修成果（資格・検定等））あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	6人	3.6%
（中途退学の主な理由）親の介護と学業両立困難、経済的な事情等		
（中退防止・中退者支援のための取組）欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第2部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,835 単位時間/単位	1,995 単位時間/単位	単位時間/単位	840 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	99人	0人	20人	40人	60人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日をもって、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 必要な学生には、教務部長等による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55人 (100%)	0人 (0%)	36人 (65.5%)	19人 (34.5%)
（主な就職、業界等）鍼灸院、鍼灸マッサージ院の施術所等			
（就職指導内容）教員による個別相談等			
（主な学修成果（資格・検定等））あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	3人	2.4%
（中途退学の主な理由）成績不良等		
（中退防止・中退者支援のための取組）欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専科（鍼灸科）第1部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,655 単位時間/単位	1,935 単位時間/単位	単位時間/単位	720 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		54人	0人	20人	40人	60人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日を決めて、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 必要な学生には、教務部長等による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	5人 (50.0%)	4人 (40.0%)
（主な就職、業界等）鍼灸院、鍼灸マッサージ院の施術所等			
（就職指導内容）教員による個別相談等			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師、きゅう師の国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	1人	2.3%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専科（鍼灸科）第2部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,655 単位時間/単位	1,935 単位時間/単位		720 単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		30人	0人	20人	40人	60人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日を定めて、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 必要な学生には、教務部長等による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
（主な就職、業界等）鍼灸院、鍼灸マッサージ院の施術所等			
（就職指導内容）教員による個別相談等			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師、きゅう師の国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
本科 (鍼灸あん摩マッサージ指圧科) 第1部	700,000 円	1,100,000 円	450,000 円	その他は施設費総額 初年度 130,000 円/年 それ以外 160,000 円/年
本科 (鍼灸あん摩マッサージ指圧科) 第2部	700,000 円	1,100,000 円	450,000 円	その他は施設費総額 初年度 130,000 円/年 それ以外 160,000 円/年
専科 (鍼灸科) 第1部	600,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は施設費総額 初年度 130,000 円/年 それ以外 160,000 円/年
専科 (鍼灸科) 第2部	400,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は施設費総額 初年度 130,000 円/年 それ以外 160,000 円/年
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html">https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が実施した自己評価結果に対し、外部の学校関係者の意見や助言を取り入れて、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めることとする。 評価項目は①教育理念・目標、②学校運営、③教育活動、④学修成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生募集、⑧財務、⑨法令遵守、⑩社会地域貢献の10項目とする。 学校関係者評価委員は、①業界団体、臨床実習施設関係者②卒業生③有識者から選任し、原則年1回評価委員会を開催し、評価結果を理事会に報告後、公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
臨床実習施設院長	2024年4月 1日～ 2026年3月31日	業界団体、 臨床実習施設関係者
卒業生	2024年4月 1日～ 2026年3月31日	卒業生
大学教員	2024年4月 1日～ 2026年3月31日	有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPで公表している。 <a href="https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html">https://www.hanada.ac.jp/about/statement.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hanada.ac.jp/shinkyu/">https://www.hanada.ac.jp/shinkyu/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311300229
学校名 (〇〇大学 等)	日本鍼灸理療専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人花田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		- 人 ( 人)	- 人 ( 人)	- 人 ( 人)
内 訳	第Ⅰ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	- 人	0 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0 人	- 人	
区分外 (多子世帯)	0 人	0 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 ( 人)
合計 (年間)				- 人 ( 人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 <small>（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）</small>	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	後半期
0人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。